






NC-2.5AH  
ワイヤーカッタ  
取扱説明書  
(20161011)

株式会社西田製作所













本社・工場 〒612-8247 京都市伏見区横大路下三栖南郷 21  
TEL 075-611-1136 FAX 075-611-4167

東京営業所 〒136-0071 東京都江東区亀戸 6 丁目 57-16-603  
TEL 03-3637-1643 FAX 03-3637-1644

このたびは当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書には、本製品の取扱い方法や、注意事項などが記載されています。ご使用の際は、この取扱説明書を必ずお読みいただき正しくご使用くださいますようお願いいたします。またお読みになった後は、使用者がいつでも見られる所に必ず保管してください。

ご使用上の注意事項は「 警告」と「 注意」に区分していますが、「 警告」は誤った取扱いをした時に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意、「 注意」は誤った取扱いをした時に、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意として記載しています。なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ずお守りください。

## 1 ご使用上のご注意

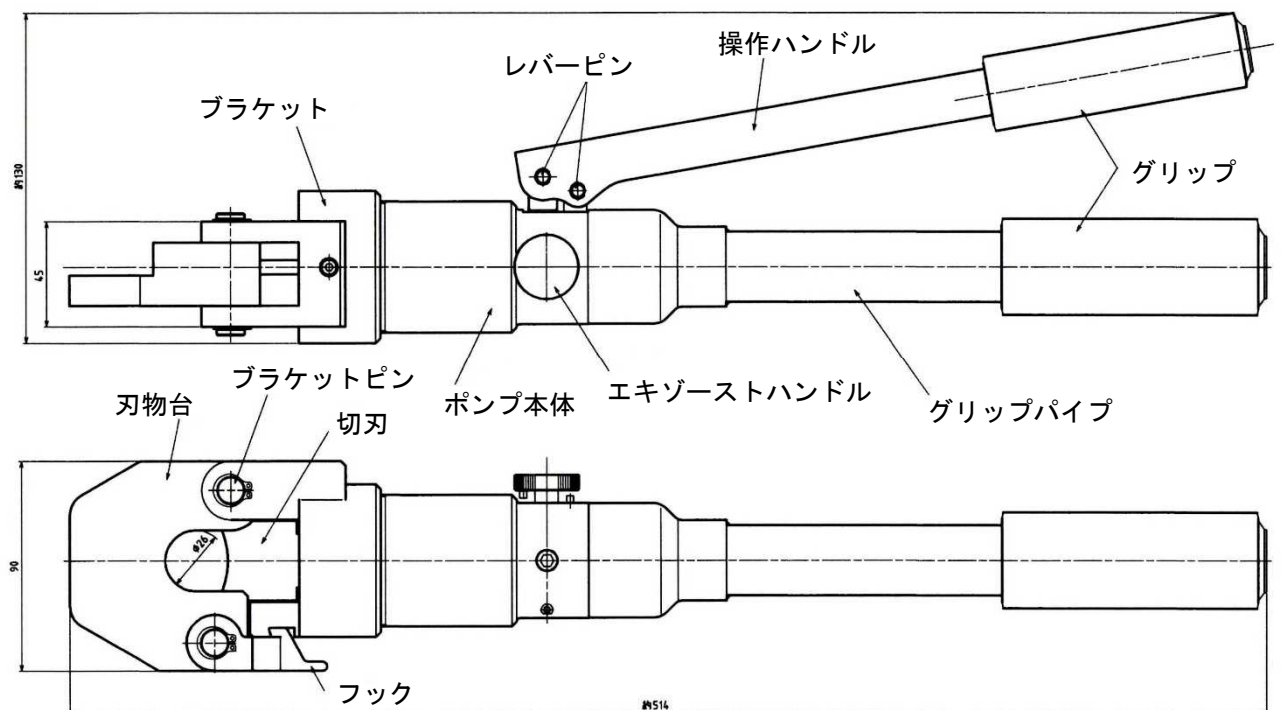
-  **警告** 仕様に記載されているもの以外の切断はしないでください。仕様の最大切断寸法以上のものは切断しないでください。工具本体が破損して重大な傷害を負うおそれがあります。
-  **警告** 当社の承認なしに工具を分解、改造はしないでください。
-  **警告** 高所で作業する場合は、工具や切断した材料が落下しないよう十分な対策を行ない注意してご使用ください。
-  **警告** 作業する周囲に作業の妨げとなるような危険物、あるいは引火物などがないか確認してください。作業場は十分な明るさを確保して、作業を行なってください。
-  **警告** ポンプが作動しているあいだは、手・指などを切刃、受刃の刃物部に絶対に近付けないでください。手・指などがはさまれ、切断など重大な傷害を負う可能性がありますので十分に注意して作業を行なってください。
-  **警告** 作業の際は必要に応じ、手袋・保護メガネ・ヘルメット・安全帽・安全帯などを着用して作業を行なってください。
-  **警告** 作業員以外は近付かないでください。また作業員も油圧工具の負荷方向側には顔を近づけたり、立ったりしないようにしてください。作業中は工具を周囲の人に向けしないでください。工具が破損した場合、部品や加工物などが飛散する恐れがあります。
-  **警告** 切刃、受刃の交換の際は誤作動をおこさないようにしてから十分に注意を払い、交換するようお願いいたします。
-  **注意** 作業を始める前に次のような不具合点がないか工具を点検してください。
  - ・油圧工具本体に油漏れ、油のにじみがないか？
  - ・切刃、受刃の取付けにゆるみはないか？
  - ・油圧工具本体に刃物の破損、ガタつき、各部分の取付け部のボルトやピンのゆるみがないか？
-  **注意** 雨中など、水気の多い場所では使用しないでください。寒冷地ではオイルの粘度が低下し動作しなくなることもありますので、温めてから使用するなどの対策を行ってください。
-  **注意** 作業中になんらかの異常が発生した場合はただちに運転を中止し、点検を行なうようお願いいたします。
-  **注意** 工具は作業前には必ず点検し、作業終了後は清掃、注油などの手入れを行なってください。

その他の注意事項として添付の「安全に関するご注意」に記載されていますのでご使用前に必ずお読みいただき、正しくお使いください。

## 2 仕様

形式	NC-25AH	
名称	ワイヤーカッタ	
シリンダ出力	95 kN	
シリンダストローク	28 mm	
寸法	約幅90mm×高さ130mm×長さ514mm	
質量	約4.7 kg	
最大切断能力	ワイヤロープ	6×24 (4号) φ25mm
	裸銅撚り線	325mm <sup>2</sup> (φ24mm)
	ビニル絶縁電線	1V200mm <sup>2</sup> (φ23mm)
	鉄線メッセンジャー	φ16mm (φ5mm 7本撚り)
	丸棒 (軟鋼SS400相当)	φ16mm (5/8")

## 3 各部名称



## 4 取扱い方法

**⚠ 警告** 作動中は危険ですので刃物などの動作部に手、指などを絶対に近付けないでください。

- (1) エキゾーストハンドルを左に回し、ラム (ピストン) を戻しておいてください。



- (2) フックをはずし、受刃台を開いて被切断材料を受刃台のカッター部に入れてください。カッター部（受刃台とブラケット）は180°回転しますので、作業に適した位置に回転させてお使いください。



- (3) 被切断材料を入れたまま受刃台を閉じ、フックを完全に掛けてください。



- (4) エキゾーストハンドルを右回転させ、しっかりと締め付けてください。操作ハンドルを上下に動かしてラム（ピストン）を前進させてください。切断の際は、被切断材料と切刃が直角になるように切断してください。



- (5) 切断が進むに従い操作ハンドルが重くなっていますが、ハンドルの開閉に強い力が必要とする場合は、操作ハンドルを大きく開かず小さく小刻みに操作しますと楽に切断できます。



- (6) 切断が終了しましたら、エキゾーストハンドルを左回しに緩め、ラム（ピストン）を戻してください。もし、エキゾーストハンドルを左に回してもラム（ピストン）が戻らない場合、切断した材料の切り屑などが切刃と受刃台の間にはさまっていることが考えられますので、切り屑を除去して戻して頂くか、切刃に傷がつかないように樹脂ハンマーなどで叩いて衝撃を与え、ラム（ピストン）を戻してください。



- (7) 作業終了後は切刃や受刃台の摺動部に付着している切り屑やごみが、次の切断作業時に噛み込まないように取り除いてください。必要に応じて、ラム（ピストン）が円滑に動作するように、また錆びたりしないように、摺動部に油などを塗布しておいてください。

## 5 刃物の交換方法

- ⚠ 警告 刃物の交換の際は指を切ったりする可能性がありますので十分に注意して行ってください。
- ⚠ 注意 刃物取付け面に切粉などの異物がないか確認してください。異物がある場合はきれいに取り除いてください。

- (1) フックをはずし、刃物台を開いておいてください。



- (2) 操作ハンドルを上下に動かし、切刃を固定している六角穴付ボルト（M4）が見える位置までラム（ピストン）を前進させてください。



- (3) 六角レンチ（3mm）で切刃を固定している六角穴付ボルトをゆるめてはずしてください。



- (4) 新しい切刃を取付け、六角穴付ボルトでゆるく締め、仮止めしてください。



- (5) エキゾーストハンドルをゆるめ、ラム（ピストン）をもどしてください。



- (6) 受刃台を元に戻すとき受刃台の溝部に切刃が確実に入っているか確認してから、受刃台を元に戻しフックを掛けてください。フックが確実に掛っていることを確認してください。



- (7) 2～3回、ラム（ピストン）を前後に動かし受刃台の溝に切刃が確実に入っているか、動作に問題がないか確認してください。



- (8) 問題がなければ、切刃を固定している六角穴付ボルトを確実に締め付けて固定してから、ラム（ピストン）を最後まで戻しておいてください。



## 6 作動油の交換方法

- (1) ラム（ピストン）を最後まで戻しておいてください。
- (2) グリップパイプを左に回し、とりはずしてください。
- (3) オイルタンクの先端にあるプラグを左右に回しながら抜き、注油口を下に向けてオイルタンク内の古い作動油を捨ててください。
- (4) オイルタンクを上に向け、注油口に油圧作動油をいっぱいになるまで、入れてください。
- (5) プラグを取付け、ヘッド部を下にしたまま操作ハンドルを動かしてください。ラム（ピストン）を2～3回前後に動作させオイルタンク内のエアを抜いた後、プラグを抜いて再給油してください。エアが抜けたらプラグを取付け、グリップパイプを取付けてください。

## 7 保守、点検、保管

- (1) ご使用前には必ず各部の点検を行ない、異常がないことを確認してからご使用ください。
- (2) ご使用後は必ず本体の汚れを落とし、防錆油などをウエスにしみこませ本体の表面をふいてください。特に摺動部分に泥、ゴミなどが付着していないか確認し、いつもきれいにふいておいてください。
- (3) 保管の際は、次のような場所には保管しないように注意してください。
  - ・直射日光があたったり、雨や雪がかかったりするところ。
  - ・高温、多湿、粉塵が多いところ。
  - ・本体を置いた時に倒れたり、滑って落下したりするような不安定なところ。
  - ・お子様の手がとどくところ。
- (4) 油圧作動油は定期的に交換してください。古い作動油のままご使用いただくと、工具の正常な能力が発揮できないばかりか、故障の原因となりかねませんので必ず交換していただくよう、お願いいたします。

## 8 アフターサービス

工具の保証期間は、お買い上げ後6ヶ月間です。ただし、切刃・受刃台などの刃物や作動油などの消耗品、お客様の誤ったご使用による不具合、当社の承認なしに行なわれた改造による故障などについては保証の対象となりません。

故障の修理、部品のお求め、その他のお問い合わせはお買い上げいただいた販売店、または当社営業部までご連絡ください。